

# フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を「分かち合い」「ありがとう」へ



## 食品ロス削減の推進に関する基本方針へのパブリックコメントを提出しました

理事会両代表・事業推進委員会の確認によりパブリックコメントを提出しました。骨子は以下の通りです。

- ①発生する焼却費用、温室効果ガス排出量明示。  
例えば、横浜市の10万6千トンの食べ残しを半分にする  
と、焼却費用が年間で8億6千万円節約でき、CO2排出  
量を8100トン削減できる事例。
- ②分かりやすい教材の作成。
- ③フードバンク活動・食品持ち帰り時の事業者責任免除の  
制度化、ガイドラインの策定。
- ④フードバンクの継続性・安定運営のために、フードバン  
ク団体の基盤強化に対する国・自治体からの支援。
- ⑤フードバンクだけでなく、フードバンクを活用し生活困  
窮者への食支援を行う団体への支援を追記。
- ⑥地方自治体によるフードバンク活動支援の政策例を基  
本方針に明示。  
以上6点です。

## 【今月の理事メッセージ】

理事 藤田ほのみ

(生活クラブ生協理事長)



こんにちは。私は、設立当初から理事として、フードバンクかながわにかかわっています。

フードバンクの理事会では、食品の提供を受けた方からのありがとうメッセージを共有しています。フードバンクのおかげで、中学生のお子さんにお弁当を持たせられるようになったなど、感謝のメッセージがよせられます。日本で貧困は、目に見えづらいますが、確実に広がっていることがわかります。

生活クラブ生協では、組合員に向けてフードドライブの実施やカンパ活動、仕分けなどのボランティア参加の呼びかけを行っています。フードバンクへの共感が高く、食品の提供はもちろんですが、ボランティア参加も多いと聞いています。これからも、より大勢の組合員に情報を届け、参加を広げて行きたいと思います。

## 第4回フードバンクに関する政策研究会を開催

2020年1月30日16時～17:30



相模原市の意欲的な食支援を健康福祉局とこども・若者未来局からお話いただきました。  
4回の学習会を終え、3月に研究会報告をまとめる予定です。

## 連載

2019年9月神奈川県労福協では、韓国ソウルを訪問。政府が主導する韓国のフードバンク活動とフードマーケットを視察されました。事業推進委員会での報告を数回に分けて掲載します。

(数値等の根拠は現場での聞き取りによることをご了承ください)

## 労福協 韓国のフードバンク視察報告 ①

理事 市川 敏行 (県労福協 事務局長)

韓国フードバンクの歴史

1997年のアジア通貨危機による経済状況の悪化が失業世帯を増加と貧困層が急増したことに対する救済策として、1998年に韓国政府環境部が国内の4市においてフードバンクモデル事業を実施。

2000年には韓国福祉社会福祉協議会がフードバンク事業委託を受け、中央フードバンクの運営主体となり、市・群・区の地域社会福祉協議会や社会福祉法人がフードバンク活動を展開する基盤となった。

2006年には「食品寄付活性化に関する法律」の制定を経て、フードバンク活動の拠点は増加し、2008年末の世界金融危機の影響で欠食階層が増加し、貧困者などの福祉ニーズ（食品や日用品を利用者が選択）の多様化に対応した『フードマーケット』が全国に広まり、2015年にはフードバンクおよびフードマーケットは韓国国内で437カ所に達した。（注：日本のフードバンクは約100団体）

韓国フードバンクの特徴

韓国のフードバンク事業は政府主導の下で法律が施行され、組織体系などの整備が行われ急速に発展した。

2006年に制定された「食品寄付活性化に関する法律」により、衛生施設・安全設備の基準が設けられた。政府が主導して寄託者や企業に多様な税制優遇を与え、また事業運営費の支援を行なっている。公的支援により食品集荷や配送、人件費負担や土地建物の提供などにより、持続的な運営が可能な体制は特徴的である。

企業や個人がフードバンクに食品を寄付した際には「食品寄付活性化法」により、寄付食品に対して保護する法律が定められており、食品を提供する際のリスクが低くなり、受給者にとっても自己管理の意識が芽生え、流通も円滑に進み、支援も多くなる。

訪れたフードバンクでは、約4,000名のボランティアが登録されており、毎日、定期的に活動が行なわれており、組織化の取り組みや啓発活動などフードバンクが地域に根付いた取り組みが展開されている。（次号では、利用者の特徴、日韓の比較を報告します）

## 食支援フォーラム開催ご案内

主催：公益社団法人フードバンクかながわ 後援：藤沢市・藤沢市社会福祉協議会（予定）  
共催：公益社団法人かながわ生き生き市民基金  
協賛：藤沢市民活動推進機構・JAさがみ・（社福）いきいき福祉会・ふじさわ福祉NPO連絡会  
湘南生活クラブ（いずれも予定）

藤沢に  
フードバンクをつくろう



日時 2020年4月25日(土)

12:40-15:30

受付開始 12:15

参加費  
無料

場所

藤沢商工会館ミナパーク6階  
多目的ホール2 定員80名先着



藤沢駅北口徒歩3分

プログラム

- フードバンクってなに？  
フードバンクかながわ
- フードバンクを使ってみよう～ 藤沢市内の食支援活動～  
JAさがみ、子ども食堂などの事例紹介
- 藤沢にフードバンクを作る  
相模原市の事例・藤沢市民からの提案

申し込み方法

- ①電話 045-349-5803
- ②ファクス 045-349-5804
- ③メール ホームページから

公益社団法人フードバンクかながわ

〒236-0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45  
TEL 045-349-5804 FAX045-349-5804 mail: info@fb-kanagawa.com



お問い合わせ

公益社団 フードバンクかながわ [info@fb-kanagawa.com](mailto:info@fb-kanagawa.com)

236 - 0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45

TEL 045-349-5803

発行責任：藤田 誠



QRで  
ホーム  
ページ  
へ



# 基本情報

2019年度の累計  
2020/1/31

寄贈された食品  
73.7トン 19万4千点  
提供した食品  
68.1トン 19万6千点

食品寄贈締結団体 71団体  
食品提供締結団体 149団体  
行政・社協 44団体  
市民団体 (子ども食堂含) 105団体

賛助会員寄付状況  
団体会員105団体 441口  
404万円  
個人会員 192名 668口  
626千円  
寄付金累計11,603,313円

(2018年度実績 寄贈46トン29万点・提供40トン25万点 寄付金6,078,734円)

## フードドライブ

### JA神奈川県中央会の大根提供

JA神奈川県中央会・三浦市農協から青首大根2480本が提供されました。JAでは神奈川の農産物を紹介する活動として、今まで桜木町駅頭等で野菜配布してきましたが、今回はフードバンクかながわがコーディネートし、地域のフードバンク、施設、子ども食堂、高齢者施設、保育園などでの活用になりました。

地域のフードバンク「お福わけの会」では40ケースが届けられ、主にシングルマザー世帯の方々に届けられました。

また高齢者福祉「社会福祉法人いきいき福祉会」ではラポール藤沢で100名の入居者や家族に呼びかけ、「三浦大根でたくあん漬げづくり」を行いました。たくわんの他に大根餅や切り干し大根など、大根を使った伝統食に子どもたちがチャレンジする企画も続きます。

#### 一私たちが作りましたー

とても美味しいこのダイコンは、名産地である三浦の大地と水で育てました。皆様においしく召し上がっていただくため、農家の方々が丁寧に育てています。三浦は野菜の宝庫です。ぜひ、三浦野菜の魅力を知ってみたいと思います。

(三浦市農協 出口組合長)



左上：三浦市農協・出口組合長からのメッセージ。右上下：お福わけの会  
左下：提供された大根、これでも半分。学習に來ていた農大生も急遽荷下ろしの手伝い。農大名物・大根おどりは次回に・・



### イオンおよびヨーカドーでのフードドライブ

○ヨーカドー 1月11日桂台店、12日横浜別所店、18日綱島店・たまプラーザ店、26日食品館上大岡、2月8日食品館瀬谷、2月9日上永谷店、15日能見台店、22日グランツリー武蔵小杉店でフードドライブを実施。チラシの他に能見台店ではレシートの後部にお知らせが入るなど各店での工夫があります。

○イオン 金沢区のシーサイド店・金沢八景店 2店舗で1週間実施しました。

ヨーカドーでのフードドライブ イオンでのフードドライブ 305点108kg



今年もよろしくお願いたします。  
フードバンクかながわ事務局ズ



### こくみん共済coop各店舗でのフードドライブ

こくみん共済coopでは各店舗での職員さんによるフードドライブを実施しています。第1回目として新横浜店からの寄贈がありました。今後他の店舗からの寄贈も予定されています。



### 横浜銀行各店舗でのフードドライブ



横浜銀行店舗でも行員・キャリアメイトさんたちによるフードドライブが行われています。今回は金沢区・磯子区の有人支店・杉田支店・金沢支店・シーサイド支店、金沢文庫支店など10店舗でのフードドライブによる寄贈です。支店ではSDGsの取り組みの一環として(1/6~31)のユーコープ各店でのフードドライブチラシを店舗置きしている。また個人・支店・エリア単位ごとのフードドライブの取り組みを呼び掛けています。

### 福祉クラブセンターでのフードドライブ

鎌倉センター、初山センター、日吉センター、藤沢センターで実施しました。合計数量908点、310.5kgの寄贈となりました。

2月9日に行われる福祉クラブ30周年の集いでもフードドライブを行います。



## 就労支援



横浜市就労準備支援事業を受託するワークス・コレクティブ教会の協力団体として、1月より二人目の若者を受け入れています。一人目の若者は準備期間を過ぎ、フードバンクボランティアとして登録しています。



## 訪問・見学・講演



立憲民主党・青柳陽一郎衆議院議員が来訪



井出総合対策室長他JAさがみの皆さん、JA横浜中西さんをJA神奈川県中央会岩堀さんがご案内



鎌倉女子大学付属高等学校中等部300名に講演



東芝ソリューションズ労組の体験研修

他に、川崎中央第2区社協の体験研修、電機連合体験犬種、ユーコープ第2エリア体験研修をお受けしました。